

映画の小箱

50歳にもなると人生は幕引きのためのみに残されているのだろうか。ロックバンドを再結成。観衆を沸かせる夢を追うのもいいじゃないか。

『スティル・クレイジー』 金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru

夢は追い続けるためにある。 中年ロックバンドの迷走と復活劇

人生の折り返し点、どこかでなにかを変えてみたい、若い時代に追い求め、思い描いた夢を、ささやかにでも形にしてみたい。そんなことはだれしも思うことだろう。だけれどほとんどの場合、若き日の夢は懐古するのみで、日常に埋没してしまっているに違いない。ここに青春時代に取り付かれた夢ももう一度と、再出発した人たちがいた。五十代とおぼしき彼らが目指したのは、自分たちの夢と青春のすべてだった、ロックンロールなのである。しかもバンドを再結成し、もう一度聴衆の前で歌うことだ。

彼らの再結成からツアーまでの過程は、可笑しくて、哀しく切なくて、でも愛らしくて、抱きしめたくなくなるに違いない。おそらく今、多くの働き盛りの、それも五十代という同年代の人たちは、思わず自分の人生に重ね合わせ、青春に思いを馳せるだろう。

一九七七年のウイズベックの野外コンサート。大観衆の前で熱演していたロックグループ、ストレンジ・フルーツ。だが雷雨に襲われたバンドは、その日を最後に解散した。

そして二十年。キーボードのトニー（ステイブン・レイ）に、ウイズベックの二十年記念に出てみないかと、誘いがかかる。もう一度花を咲かせたいと思っていたトニーは、バンド再結成に動き出す。

そして最初に口説きにいったのが、バンドのマネージャーだった女性のカレン（ジュリエット・オーブリー）だ。

それぞれの二十年後のキャラクターが、実に人間味たっぷりによく描かれている。

トニーは今でももじやもじやの頭。胸のネットレスには、本当か嘘かジミ・ヘンドリックスが落としたという歯がついている。革ジャンに派手な指輪を嵌めて、ロックンローラー

と自称する。しかし、実際はコンドームのセールスマン。

カレンは離婚して、現在では一人の女の子を抱える母親となり、ホテルの営業をしている。上司にお尻を触られて怒りをあらわにすると「少しくらいは我慢しなさい、仕事はつとまらない」と、逆にい返される始末だ。

そんな彼女は、トニーの誘いに、夢をかけてみる気になる。

二人は元のメンバーを訪ねる。

ドラムのビーノ（テイモシー・スポール）は、いまだに独身。一人暮らし、それも母の家の隣でトレーラーに住む。今の仕事は園芸の手伝い。税務署に税金を滞納し、逃れたい一心で、カレンたちの誘いにすぐに乗る。

ベースのレス（ジミー・ネイル）は、屋根の補修工事が職業。転々として苦労して働んだ仕事。昔の夢が忘れられず、妻の反対を押しきり、ステージに上がりたいと参加する。

ボーカルのレイ（ビル・ナイ）は、「俺だけが、現役ロックンローラーさ」と、プライドは人一倍。ソロアルバムを、今も作り続けている。美人の妻と小さな城に住んでいるが、城は売りに出ている。おまけに体調がすぐれず、昔はドラッグと酒びたりだったのに、今は禅の瞑想と漢方薬に凝っている。

レイは、花形だったボーカルのキースが薬で死んだために後釜で入ったいきさつがある



ローヤルゼリー 進化論

高品質ローヤルゼリー

+

アガリクス茸

JRJの高品質ローヤルゼリーに、注目されるアガリクス茸を配合。それが進化したローヤルゼリー、JRJスプリウムローヤルゼリーAGです。

若い働き蜂の咽頭線から分泌されるローヤルゼリー。女王蜂はこのローヤルゼリーだけを食べ、体長は働き蜂の2倍から3倍、寿命は働き蜂の1か月に比べ、3年から5年と長生きします。そして、生涯、毎日2,000個から3,000個の卵を産み続けます。この生命力の源がローヤルゼリーです。

JRJスプリウムローヤルゼリーAGは、最高品質のローヤルゼリーに「奇跡のキノコ」として世界的に注目されるアガリクス茸を配合。より積極的に健康を考える皆様にお応えしています。ぜひ毎日の栄養補給、健康維持にお役立てください。



JRJスプリウムローヤルゼリーAG

調製ローヤルゼリー

60粒 ¥35,000 / 150粒 ¥70,000 (消費税別)

健康しつかり。



ジェーアルジェ株式会社

本社: 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル17階
TEL. 03-3345-2888 〒163-0517



が、自己顕示欲が強く仲間の受けは悪い。そしてもう一人キースの弟であり、人気のあったギタリストで、カレンが恋をしたブライアンがいたのだが、死んだという噂だ。こうしてレス、レイ、ビリー、トニーが再会。ギターがないために、新たに若手のギタリストのルーク(ハンス・マシソン)が参加。バンドのリズムを取り戻すべく、まずは昔と

同じバスでのヨーロップツアーを行うことになり、珍道中が始まるのである。

このツアーが最高に可笑しい。リズムはいいまいち。若い客ははしらせる。ボーカルのレイは息があがり、鏡の前で自分を鼓舞し励ます。昔は女の子に囲まれたのに、もてるのは若いギターのルークだけ。なにもかもちぐはぐで、青春時代と同じとはいかない。

思い余ったレイは、ドラキュラまがいの衣装でスモークを炊いて登場し、音量を上げて、受けを狙ったが、近所からクレームはつきし、仲間からの評判も最悪。やつとリズムが合い始めCDを出すところまでいったのに、昔と同様、仲間との間に亀裂が生まれてしまう。

でも、マネージャーの辛抱強いみんなを守る力によって、次第にバンドの調和が生まれ始める。不器用で、結局は大人になれない中年ロックンローラーの、音楽を通し夢を叶える姿は感動的ですからある。このために書き下ろされた音楽が、バンドの雰囲気に見事に調和し、存在感を出している。

♪

『スティル・クレイジー』 Still Crazy

(1998年、イギリス映画 コロンビア映画/ソニー・ピクチャーズエンタテインメント配給)

監督=ブライアン・キブソン

出演=ステイブ・レイ、ビリー・コノリー、ジミー・ネイル、ティモシー・スポール、ビル・ナイ、ジュリエット・オーブリー、ヘレナ・ベルクストローム、ブルース・ロビンソン